

じょうようのふくし

城陽市社協
マスコット

ae 社協だより

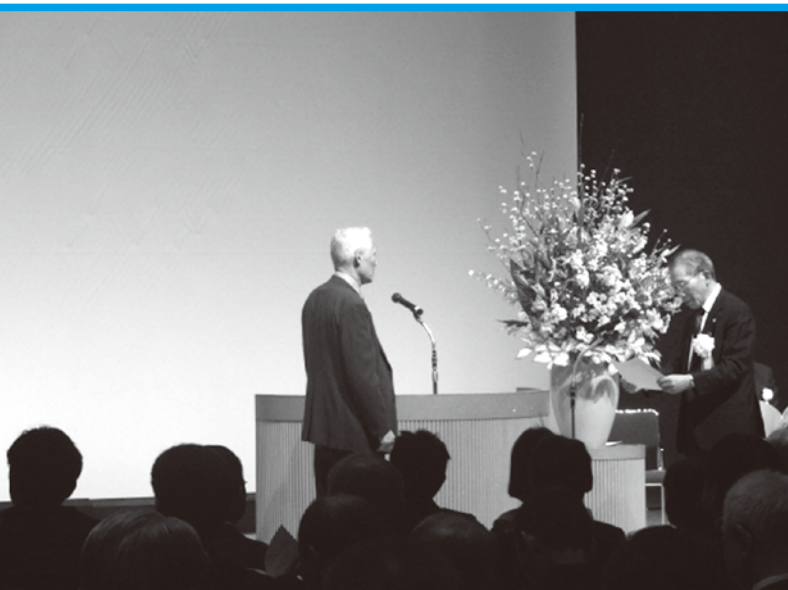


共同募金配分金で作成しています

発行 社会福祉法人 城陽市社会福祉協議会
城陽市寺田東ノ口17 福祉センター1階

TEL 0774(56)0909
FAX 0774(56)2800
<http://www.kyoshakyo.or.jp/joyo/>

平成29年春発行
第119号



第38回 城陽市社会福祉大会 大盛況でした!!



平成29年2月25日(土)に文化パークで第38回城陽市社会福祉大会を開催しました。第1部の式典では、地域の福祉活動において功績の顕著な方々や団体に対し、市長からの表彰状と市社協会長からの表彰状及び感謝状を贈呈しました。第2部の第11回児童・生徒の福祉作文コンクールでは、最優秀賞の方2名に表彰状を贈呈し、作文発表をしていただきました。第3部の演劇では劇団福祉座(客演:中村俊雄氏、奥田治子氏)に人情味溢れる時代劇を披露していただきました。

受賞者の紹介および第11回児童・生徒の福祉作文最優秀賞の紹介を中のページでしています。ぜひご覧ください。

第38回 城陽市社会福祉大会受賞者紹介

1 城陽市長表彰(12名)

社会福祉事業功労者(12名)

- 佐藤 信広 (校区社会福祉協議会)
- 樹下 美佳 (校区社会福祉協議会)
- 大島 達也 (校区社会福祉協議会)
- 山口 暁三 (校区社会福祉協議会)
- 森安 健至 (校区社会福祉協議会)
- 細川 康子 (校区社会福祉協議会)
- 久木 太造 (校区社会福祉協議会)
- 木村 政男 (校区社会福祉協議会)
- 保日部 美恵子 (校区社会福祉協議会)
- 前田 敬子 (校区社会福祉協議会)
- 奥田 雅子 (校区社会福祉協議会)
- 高須 達雄 (市社協)
- 布村 孟三 (校区社会福祉協議会)
- 矢次 馨 (校区社会福祉協議会)
- 渡邊 節子 (校区社会福祉協議会)
- 山内 豊造 (校区社会福祉協議会)
- 土居 保子 (校区社会福祉協議会)
- 新 定子 (校区社会福祉協議会)
- 亀井 和代 (城陽市身体障害者協会)
- 山本 和雄 (城陽市介護者の会)
- 宇野 義治 (城陽市精神家族会アルプス)
- 平塚 安江 (和光会)
- 水野 弘美 (和光会)
- 天野 昌博 (和光会)
- 植田 誠 (うめの木福祉会)
- 鈴木 智仁 (うめの木福祉会)
- 植田 美帆子 (うめの木福祉会)
- 松本 絢子 (京都府社会福祉事業団)
- 匿名 1名

3. 城陽市社会福祉協議会会長感謝状(69名 29団体)

社会福祉事業奉仕者 個人(31名)

- 民生委員・児童委員功労者(21名)
- 徳地 靖子 並川 弥生
- 猪田 義春 神吉 武司
- 西岡 裕 市川 悦子
- 内藤 庸 正木 忍
- 久保 美由紀 木下 喜代美
- 小林 裕明
- 志水 寛 (校区社会福祉協議会)
- 今田 紀代 (校区社会福祉協議会)
- 奥田 美智子 (校区社会福祉協議会)
- 馬場 泰子 (校区社会福祉協議会)
- 堀井 豊 (校区社会福祉協議会)
- 澤田 一男 (校区社会福祉協議会)
- 西村 都美 (校区社会福祉協議会)
- 佐々木 弘子 (校区社会福祉協議会)
- 妹尾 登 (校区社会福祉協議会)
- 伊庭 顕夫 (校区社会福祉協議会)
- 谷山 京子 (校区社会福祉協議会)
- 佐藤 多嘉子 (校区社会福祉協議会)
- 北岡 なな子 (校区社会福祉協議会)
- 白田 伊公子 (校区社会福祉協議会)
- 澤田 智恵子 (校区社会福祉協議会)
- 匿名 1名
- 見方 親憲 那須 美起子
- 浅野 実 亀井 敏夫
- 熊谷 文緒 西澤 武
- 上杉 禮子 西幹 敬
- 宮下 弘子 今本 弘
- 松浦 由香 神前 準二
- 上田 誠 竹島 通夫
- 平石 邦子 竹内 邦生
- 南村 光昭 寺田 由利子
- 村岡 勝子 (校区社会福祉協議会)
- 坂本 美千代 (校区社会福祉協議会)
- 林 義章 (校区社会福祉協議会)
- 森島 雅美 (校区社会福祉協議会)
- 松本 雅勇 (校区社会福祉協議会)
- 竹村 いさを (校区社会福祉協議会)
- 竹村 すえ (校区社会福祉協議会)
- 松見 信子 (校区社会福祉協議会)
- 竹村 信子 (校区社会福祉協議会)
- 中出 政美 (校区社会福祉協議会)
- 高村 征子 (校区社会福祉協議会)
- 石田 廣子 (校区社会福祉協議会)
- 穂北 良子 (校区社会福祉協議会)
- 西山 千代子 (校区社会福祉協議会)
- 岡井 毅芳 (校区社会福祉協議会)
- 増田 貴 (校区社会福祉協議会)
- 森 春雄
- 井川 依子
- 外村 明美
- 田川 繁子
- 今西 啓員
- 山下 義一
- 濱田 由紀子
- 後藤 俊昭
- 林 初美
- 山下 千智
- 梅川 敬子
- 上田 喜秋
- 山田 悦子
- 阿部 泰介
- 高木 由美子

社会福祉事業奉仕者 団体(21団体)

- 平川東部第一自治会
- 北陽自治会
- 上津屋自治会
- 中道表自治会
- 大亀茶屋親善自治会
- ハイランド南自治会
- 桜ヶ丘自治会
- 城陽南団地第二自治会
- 水度参道自治会
- 垣内後西自治会
- 北東西自治会
- さくらえん自治会
- たんぼぼ自治会
- 水度坂自治会
- いずみ自治会
- 今堀自治会
- 大堀自治会
- 枇杷庄自治会
- 北清水自治会
- 西富野自治会
- 中自治会
- 社会福祉事業奉仕者 大口寄付(2名 8団体)
- 徳尾 榮一
- 木田 慶子
- 近畿労働金庫 宇治支店
- 全京都建築労働組合 洛南支部
- 京都城陽ロータリークラブ
- 城陽市牛乳販売店組合
- 城陽市今池コミュニティセンター運営委員会
- 近畿砂利協同組合
- 城陽市建設業協会
- 八久城地区自動車整備協議会

第11回児童・生徒の福祉作文 最優秀賞 紹介

「目の不自由な人に

私ができること」

寺田西小学校 6年 増田 百香

最近、盲導犬を連れて目の不自由な人が線路に落ちて亡くなったという、とても悲しいニュースを聞きました。私は、盲導犬がいたら、視覚障がい者の目の代わりをするので、安全だと思っていましたが、そのような事故が起きたと聞いて驚きました。どうして落ちたのか、詳しい理由は分かりませんでした。が、周りにいた人達が「危ないですよ。」などと声をかけてあげていれば、事故は起きなかったかもしれないと思います。また、そういう事故を防ぐために、ホームドアや点字ブロックを設置する駅が増えればよいと思いました。

以前、学校で目の不自由な人の気持ちを知るための学習をしました。アイマスクをして、ペアの人のかたを持ち、トイレまで行って教室へ帰ってくるという事をしました。アイマスクを付けて目の不自由な人の役をしましたが、真っ暗でも見えず、恐くなりました。目が見えなかつたら、



増田百香さん

いつもより道がとても長く感じました。目の不自由な人の辛さがよく分かりました。また、補助をしている方も相手のペースを考えて、しんちように歩かなければならないので大変だということが分かりました。

私は、ふと自分の住んでいる町が目の不自由な人にとって安全なのだろうかと思い、確かめるために近所を歩いてみました。すると、ペットボトルやかんなどのごみ、犬のふん、ガムなど色々落ちていました。これでは、踏んだり、つまずいたりしてしまうかもしれません。また、ホースが道に出ていたり、みぞのふたがと中でなくなっていたりしていました。その他にも路上駐車をしている車や、自転車もありました。点字ブロックは、思ったより少なかったのですが、驚きました。少し歩いただけなのに、予想よりもたくさん危険や問題があることに気がきました。わざとではなくても、けがをさせてしまうことになるかもしれません。道ばたにごみは捨てない、ボランティア活動に参加してごみを減らす、路上駐車しないで決められた場所に駐車するなど、だれにだってできる簡単なことで事故は防ぐことができるはずです。



今はやっているゲームにも問題があると思います。所かまわずゲームに夢中になっている人が多いです。歩きながらしたり、さらには車の運転中に行ったりして事故が多発しています。このことは、目の不自由な人にとっては、特に危険なことだと思います。マナーの悪い人の行動も危険の一つだと思います。

目の不自由な人が過ごしやすくなるために、自分でできることは何かを考えてみました。まず、一つ目は、目の見えない人が困っていたら声をかけて助けてあげることです。二つ

目は、ごみを拾うボランティア活動に参加して道を歩きやすくすることです。三つ目は、危ない所を見つけたら、市役所に連絡くして直してもらおう



ことです。このほかにも色々考えられます。みんなが目の不自由な人に親切に気を配ってあげたらよいと思います。そして、地域が目の不自由な人のために点字ブロックを増やしたり、危ない場所を直したりと、過ごしやすい社会になったらよいと思います。また、学校の授業でも、目の不自由な人とふれ合うことで、不安に思っていることなど色々知ることができて分かり合えると思います。実際に話を聞くことで、みんなもこれから気を付ければよいことを考え、事故を減らすことができるかもしれません。普段私は、目の不自由な人のことについて一つも考えてみなかったけれど、この作文を書くことで目の不自由な人のことやその人達の気持ちを考えられて、とてもよかつたと思います。

「福祉とは何か」

南城陽中学校 2年 竹内 萌

私は幼い頃から福祉に興味がありました。それは家族や周りに福祉に関わる人がいたからです。援助を受ける人、援助をする人、老人、児童、障がい者保育園に通う子ども達も福祉の対象です。私は大きくなったら、そんな人達と関わる仕事がしたいなあと、漠然と思いながら育ってきました。しかし中学生になり、より深く将来のことを考えるようになった今、福祉とは何かという疑問が浮かびました。何となく考えていたのは、障がい者施設で働くことでした。でも実際父を見てみると、私にはできそうにないです。なぜなら、朝はだんだん家を出るのが早くなってるし、休みがない週もあるし、なにより家族と過ごす時間がどんどん減ってきています。家族のことはいつも後回しです。それで福祉を担っているといえるのかというと、疑問に思います。普通に生活できないのに人のお世話ができるのかと私は思い、父に文句を言ったことがあります。すると、「制度はコロコロ変わるし、利用者をとりまく環境も日々変化する。その人達を守るのが仕事だから、しょうがないやん。」と返ってきました。私は福祉を必要とする人たちが、当たり前前の生活を送れるようにならなければ、父も規則正



竹内萌さん

しい生活ができないのかと、気が遠くなりました。私は今まで忙しい父を、自分なりに手伝ってきたつもりです。東日本大震災の翌年、クリスマスの日には、人見知りの父に連れて南三陸町へ京野菜を届けるボランティアに参加しました。途中で寄った大川小学校の教室に入った時は、勉強どころじやないと思いました。そして同じ小学生として、楽しい場所に変わったと感じました。毎年秋にあきしゃぼっぱコンサートには4才の頃から出場しています。ひまわり号枠で歌ったり、踊ったり、4年生の時には計画不足で1人で踊らされたこともありました。でもそれも父がたのむから、しょうがないという感じでした。こうして親を手伝うことも福祉なのかなあと今、思い出しています。

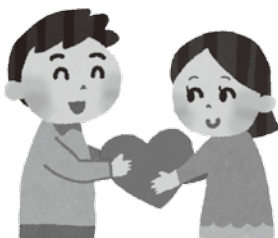


私は5才の頃からダンスを習っています。先生はきしゃぼにも出てくれたKOUZU先生です。先生はmarclecoというグループでチャリティー活動をされています。その活動の一つとして、自主製作の舞台の収益をふくしまつ子smileプロジェクトに寄付する取組があります。一度観に行き、いつか私も出てみたいと思います。その夢は、オーディションに受かるということに条件に今年叶いました。初

めて受けるオーディションでは、自己PRの他、踊ったことのないジャンルのダンスもありました。緊張したけど、東北への支援とダンスがしたいという思いで、頑張りました。

合格してからは、3月の本番に向けて、毎週、難波まで通いレッスンに励みました。中1になったばかりで、レッスンのある日曜日は部活を休まなくてはいけなくて、両立に苦しんだこともありましたが、夢のため、3月まではと頑張りました。

本番の3月5日・6日の3公演はたくさんのお客様さんに観に来ていただきました。舞台に出る前は緊張していた自分が、出てみると緊張が消え、堂々と踊ることができました。3公演のチケット代の内に含まれる500円と、募金箱の中をあわせて3万648円が寄付され、大成功を収めることができました。



福祉とは何か。それは人を思いやる気持ちだと思います。それは直接的に援助することだけではありません。募金や署名のような間接的なことも福祉だと思います。要は、人のために何かをすることなのです。家族のため、友達のため、周りの全ての人のため。誰かのために何かをすることが福祉なのではないでしょうか。

心温まる作文を発表していただき、ありがとうございました。



介護のことなどお気軽にご相談ください

城陽市2つ目の包括支援センター 城陽市西部地域包括支援センター 開所しました!



【城陽市西部地域包括支援センターのご紹介】

平成29年1月4日より、城陽市で二つ目の地域包括支援センターとなる『城陽市西部地域包括支援センター』（西城陽中学校（寺田西・今池小学校）圏域担当）が開所しました。現在の城陽市地域包括支援センターと連携し、城陽市の高齢者福祉の相談窓口として市民のみなさまのお役に立てればと思います。なお、上記圏域外の方もご相談いただけます。ご連絡をお待ちしています。

場 所 城陽市富野西垣内1-19（旧ヤマダサイクル）

電 話 0774-55-7222 **F A X** 0774-55-7221

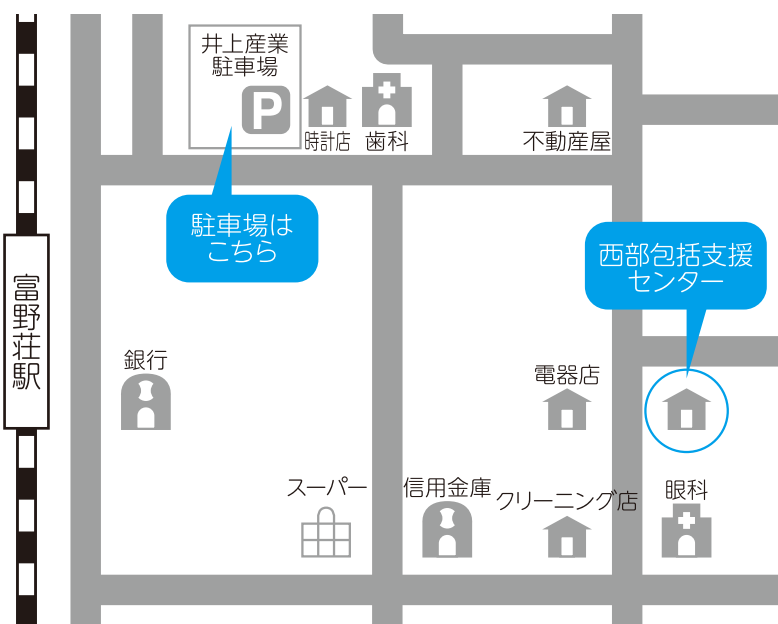
営業日、営業時間 月曜日～土曜日・祝日 8時30分～17時 ※但し、年末年始除く

相談料など 相談や訪問には費用は一切かかりません。

情報管理 相談内容や個人情報が漏れることはありませんのでご安心ください。

利用方法 電話・訪問・来所の方法があります。「自宅でゆっくり相談したい」「なかなか外出できない」という場合は、お電話頂ければ相談員がご自宅にお伺いします。

地 図



地域包括支援センターって?

地域包括支援センターは、地域で暮らす高齢者のみなさんを、介護・福祉・健康・医療など多方面から総合的に支えるために、各分野の専門職（主任介護支援専門員、保健師、社会福祉士等）が配置され、さまざまな相談に乗れるよう体制を整えています。

【地域包括支援センターでご相談いただけること(例)】

- 介護に関する相談（介護保険制度の利用等を含む）
- 権利を守るための制度活用のご相談（成年後見制度、福祉サービス利用援助事業等）
- 高齢者虐待に関する相談、対応
- 65歳以上の方やそのご家族からのご相談（総合的なもの）
- ケアマネジャーへの支援など

西部在宅介護支援センター閉所のお知らせ

高齢者の相談窓口として長年西部デイサービスセンター内（寺田乾出北55）に設置していた、西部在宅介護支援センターにつきましては、城陽市西部地域包括支援センターの開設を受け、12月末をもって閉所させていただきました。長らくご利用いただき、ありがとうございました。

西部在宅介護支援センターで実施していた相談業務等については、西部地域包括支援センターにて引き続き行っていますので、お問い合わせにつきましては、電話（55-7222）にてご連絡をいただきますようお願い申し上げます。

地域での支えあい できることから始めてみませんか？

超高齢化社会を迎える日本では、現行の福祉システムでは対応しきれない可能性も懸念されるなか、改めて注目されているのが「地域での支えあい」の仕組みづくりです。ちょっと困ったときに地域のひとたちで支えあえたら、安心して暮らせる社会になるのではないのでしょうか。

そういった「地域での支えあい」を具体化すべく、本会では平成28年度から生活支援コーディネーターを配置し、地域住民や関係機関・団体・企業の皆様と一緒に考えるための準備を進めているところです。その第一歩として、地域支えあいフォーラムを平成29年1月31日に開催しました。100名以上の方が参加され熱心に講演を聞かれています。本会関連の生活支援事業の一例は下記のとおりです。



地域支えあいフォーラムの様子

○校区社会福祉協議会の活動

地域住民を対象としてサロン・見守り・配食等のイベントを展開しています。

○福祉サービス利用援助事業

判断能力が低下されている方に訪問し、公的機関や金融機関の手続き支援や金銭管理等を行います。

○住民参加型相互援助サービス

公的サービスを利用していない方の日常生活での困りごと（家事等）に対し、援助します。

上記活動など、地域での支えあいに興味のある方は、気軽に本会までご連絡ください。☎ 56-0909

全国社会福祉協議会会長表彰

平成28年度全国社会福祉大会が開催され、城陽市では下記の方々に全国社会福祉協議会会長表彰が授与されました。

この大会は、多年にわたり社会福祉及びボランティアの各分野の発展に功労のあった方々に対し、厚生労働大臣表彰を贈っているものであり、毎年開催しています。

(順不同・敬称略)

民生委員・児童委員功勞 近藤 幸男 (所属：城陽市民生児童委員協議会)
社会福祉法人・福祉施設功勞 白樫 忠 (所属：(福)青谷学園)
社会福祉協議会・民間社会福祉団体関係功勞 山下 浩二 (所属：城陽市社会福祉協議会)



【表彰伝達の様子】
右から 本会鈴鹿会長
近藤氏
白樫氏
山下氏

城陽市共同募金会で 募集中の義援金

○平成28年熊本地震義援金

(平成28年4月22日～平成30年3月31日)
平成28年4月16日～平成29年2月28日現在の
義援金合計額：2,911,207円

○岩手県台風10号大雨等災害義援金

(平成28年9月5日～平成29年3月31日)

城陽市共同募金会では、上記義援金を
福祉センター1階の窓口で受付ています。

ご寄付いただいた義援金は、被災都道府県、中央共同募金会、日本赤十字社などの義援金受付団体を構成メンバーとする「義援金配分割合決定委員会」の決定に基づき、その全額を被災された方々の生活再建のためにお届けしています。



本会へのご寄付 ありがとう ございました!

城陽市社会福祉協議会が行う事業のためにご寄付をいただいた方・団体を紹介します。

(平成28年12月1日～平成29年2月28日現在)【敬称略】

○八久城地区自動車整備協議会 寄付金 30,000円

寄付金は本会の善意銀行に積み立て城陽市で行う地域福祉やボランティア活動の推進にて活用させていただきます。

今後とも、ご支援・ご協力をよろしくお願ひします。